

はじめに

コロナ禍を経て加速したデジタル化、原材料価格やエネルギー価格の高騰、高関税による保護貿易化、あらゆる分野での人手不足など、本県産業を取り巻く環境は先を見通せない状況が依然として続いており、厳しい競争環境にある産業の持続可能性をいかに高めていくかが課題となります。

県としましては、昨今の社会経済情勢の変化に的確に対応し、中長期的視点に立って施策を展開していくため、今年度から令和11年度までの5年間の産業振興施策の新たな指針となる計画である「山形県産業振興ビジョン」、「第3次おもてなし山形県観光計画」を策定しました。これらの計画に基づき、現場重視の視点のもと、地域経済の状況等を注視しながら、企業や市町村・団体・大学など多様な主体との連携をさらに強化するとともに、従来の視点に捉われない積極的な挑戦を後押しすることにより、変化が激しく先行き不透明な未来を切り拓き、本県産業の振興を図ってまいります。

また、社会経済情勢の変化をチャンスと捉え、デジタルの活用による生産性向上や利便性向上、GX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進、外国人材の活用、双方向の観光交流などで国内外の活力を摂り込むことなどの施策を展開し、本県経済の持続的発展を目指してまいります。

『山形県の商工業』は、県内商工業の現状についてまとめたものです。本冊子が、本県産業の将来を考えるための一助となれば幸いです。

令和7年4月

山形県産業労働部長 奥山 敦
山形県観光文化スポーツ部長 黒田 あゆ美